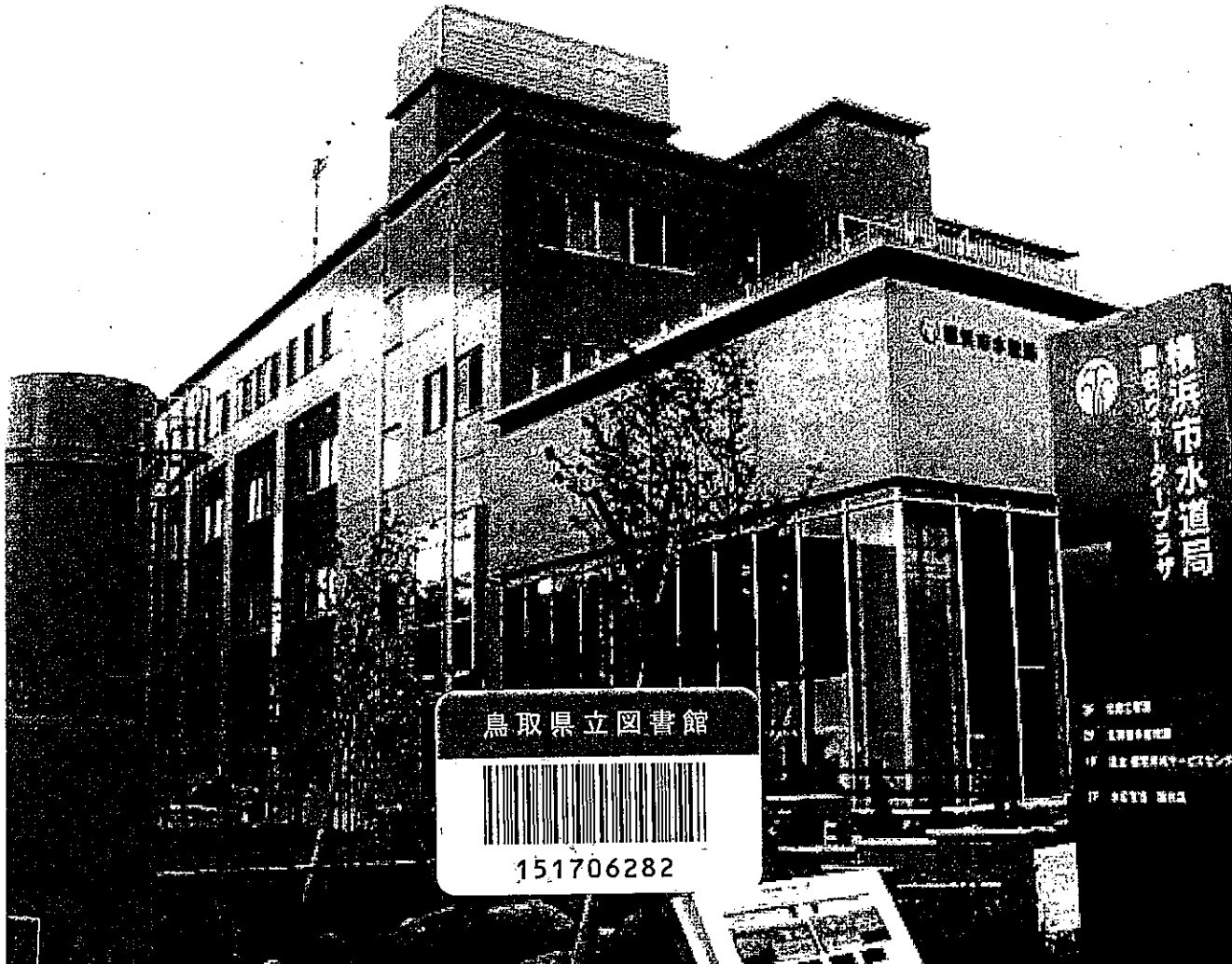


公営企業

2007

9

- 「鳥取新時代」の実現に向けて 鳥取県知事 平井 伸治
- 現場から自治を問う 新潟大学大学院法学研究科教授 田村 秀
- 自治体と大学の連携による新たな地域創造 高崎経済大学地域政策学部教授 戸所 隆
- 下水道財政における公私負担について 国立大学財務・経営センター研究部准教授 水田 健輔



「鳥取新時代」の実現に向けて

鳥取県知事

平井伸治



私は、この四月、「次世代改革」を県民の皆様とともに実行して「鳥取新時代」への道を切り開くことを宣言し、県政推進に当たることとなりました。これまで取り組まれてきた地方分権時代の先進県としての改革の理念を引き継ぎながらも、地域発展型の伸び伸び改革へと脱皮させ、改革の果実をしっかりと県民の皆様と地域に還元するよう、次の5つの基本的な姿勢で「鳥取新時代」の実現に向けて取り組んでいきます。

～「県民が主役で担い手の県政」～

これからの時代は、県庁が全てを引っ張って行くのではなく、県民、NPO、企業の皆様とのパートナーシップを拡大し、一緒になって活力のある地域づくりを進めることが重要です。政策の立案と執行の両面にわたり、県民の皆様との協働を原動力とする地域づくり、県民が担い手となる県政運営を行います。

～「地域の活力を生み出す県政」～

全国的に好景気が長期化したと言われますが、鳥取県をはじめとする地方部にはいまだ景気の上昇感がもたらされていません。現状を打破するためにも、民間と行政が一体となって、産業基盤の基本条件を整えながら、新しいビジネスに果敢に挑戦していく風土を創造していきます。

～「自立と連携による県政」～

地域としての競争力を高めるためには、これからは「自立」を前提としながらも、それ以上に「連携」も重視しなければなりません。そのため、市町村や国との連携はもとより、経済活動や観光に着目した他地域との連携、県内の企業、住民団体、大学等いろいろなセクションとの連携を進め、県の施策を実行していきます。

～「未来を語って今を考える県政」～

県民の皆様が将来を展望して地域づくりを語るができるよう、県民の皆様と一緒に近未来の将来ビジョンをつくります。

～「県庁の改革」～

県庁は県民から信頼される組織でなければなりません。県民志向で信頼される県庁組織を目指して、仕事のやり方を総点検し、県庁改革を断行します。

これらの基本的な姿勢のもと、既に、改革のエンジンとなり、庁内横断的に施策を展開する組織として、「次世代改革推進本部」を立ち上げ、各分野ごとにチームを編成して議論を始めています。お役所仕事に埋没することなく、県民の皆様との対話の上に立って、スピード感を持ち、機動的に、できることから随時実施し「鳥取新時代」の実現に向けてまい進していきます。